

＜復興促進イベントのあらまし＞

イベント：内容の決定経緯（式典、ループバス、スタンプラリー、粗品提供）

→イベント概要については、予算確保の関係もあり昨年度12月～1月頃には確定していた。式典の規模感（式典会場の収容規模）式典後のイベント等は4月以降企画していく。

会場：概ね200名規模の会場設営ということから東地区での設置可能な土地の選定を行い（日和山北地区）、西松JVにより先行的に粗造成が行われた。

実施日時 平成30年5月27日 9:00～14:30（式典は10:00まで、当日準備は7:00から）

実施体制 当初イメージとしては名取市、閉上地区の復興事業に関わる事業者により、遅滞なく復興を進めるための決起集会的なイメージを持っており、共催のイメージがあったが、企画途中で主催：名取市、協賛：復興事業関連事業者という形になった。運営の特殊性もあり随意契約により運営支援としてパシフィックコンサルタンツ株式会社に3月末に委託。実質2ヶ月間の準備期間。

参加者 対象とした参加者とは？

被災以降、全国から様々な人的支援を頂いた方々に、現在の復興の姿を見ていただく趣旨から、市役所で把握している名簿（6,000名）

→当時の登録住所から発送したため、未着ハガキが2,000名程度あった。

招待者 招待者はどのような人か？

国（復興庁、国交省、水産庁）、県（知事）関係の議会（国会、県議会）、名取市議会、行政区長、町会長、現在活動する団体代表（名取市で把握）

＜時系列による進め方＞

会議の目的 成果

スタート会議

4月9日：復興促進イベントの企画概要の説明、協力要請（復興促進イベント）

→企画内容についての意見収拾、挨拶者等の決定。

4月10日：水産加工まつりの企画概要の説明、参加要請

→4/16迄に参加表明および必要備品（レンタル品）要望の申請

検討会議

5月8日：震災復興部内職員の役割分担の発表。各担当者（責任者）の決定

：案内ブース担当部署への要望事項の通達および備品、展示品の確認および配布物・展示物の作成依頼の受付

：「復興促進イベント実行委員会（名取市および名取市観光物産協会）」の設立

5月9日：復興関連工事事業体への支援要請（事前工事、支援金）および確認

- ・ URLK：市役所担当の支援。閑上中央第一団地の案内ブース
- ・ 西松JV：建設重機展示ブースおよび会場造成・柵設置等
- ・ 鴻池JV：閑上中央第二団地（建設中）の工事場内での見学場所の確保および当日説明

式典の概要

- ・ 会場準備・スタッフ（決定経緯、業者選定方法）
※ダスキンレントール イベントセンター
- ・ プログラムの決定経緯（5月8日の会議で決定）、MC選定（委託業者による選定）
- ・ 事前協議、当日の進め方（5月8日の会議で全体承認）
警備・駐車場担当のみ5月24日警備会社を交えて確認。
5月25日名取市・委託業者で駐車場整備（線引き）
※周辺が工事中ということもあり、会場設営等は限定された時間で設置、撤収を行った。

粗品について

- ・ 企画段階、品決定経緯：当初から市担当部署にて品物については決定していた。
- ・ 準備の内容：
 - ① 「がんばり枅」ヒノキ合枅（名入れ）製作に1ヶ月を有することから4月中旬に刻印内容を確定し、発注。
 - ② 絵葉書（4枚）およびフォトクリップ。絵葉書用写真の為、4/27ドローンによる撮影。フォトクリップは1000単位のオーダーが出来る店舗が無く、委託者の方で作製。
 - ③ エコバック。上記粗品を配布するに当たり、エコバックの作製（2週間）
- ・ 配布方法：受付による配布（案内ハガキと引き換えに配布予定）来訪者が少なかった為、ステージ出演者や見学者に配布。

警備関係

→今回のイベントに関しては、①築港線への負担軽減（居住者およびループバスの運行への影響を軽減する為）②駐車場への円滑な誘導（会場周辺の混乱を避ける為）に特に配慮して警備員配置を行った。警備会社から17名（警備主任を除く）また前日会場設営を行っているため夜間警備（1名）を配置した。

駐車場

- 近傍の駐車可能な場所についてすべて確保。築港線への負荷軽減の為、築港線沿道には駐車場を設置しない。メイン会場東側の「来賓駐車場」を当日は早期段階から一般来場者用に開放し、日和山付近での渋滞緩和に努めた。
- 復興促進イベント・水産加工まつりとして確保した駐車場は500台程度。

案内サイン

→基本的には往路・帰路ともに小塚原中央線（火葬場前道路）への誘導を促し、築港線への負担を軽減するための案内看板を前日に設置した。

周知方法：ちらし、HP、SNS？

→復興促進イベントとしては事前にハガキ、招待状で案内した来場者が中心であり HP による告知やなとらじでの告知が中心であったが、同時開催である「水産加工まつり～復興感謝祭～」を中心に、名取市および仙台都市圏への周知を行った。ポスター（100 枚）、「Oh バンデス」「テレまさむね」等の TV 媒体、なとらじ、Date-FM 等のラジオ。また、河北新報折込広告（名取市内 9500 世帯）による告知を行っている。